

平成 27 年 活動報告

1. 総括的な報告

コンサルティングエンジニア連盟（以下、連盟という）は、平成 13 年の創立以来、「国の持続的発展にとって社会資本整備は不可欠である」との認識のもと、社会資本の整備推進と改善、これを担当するコンサルティングエンジニアの社会的・経済的地位の向上を目指してきたが、平成 27 年は次の方針を掲げて活動を行った。

- (1) 安全・安心な国づくりのための社会資本整備の継続的推進
- (2) 当初予算の確保と円滑な執行、様々な面でのコンサルティングエンジニアの活用
- (3) 「公共事業調達法（仮称）」制定の推進
- (4) 地域に密着したコンサルティングエンジニアの育成
- (5) コンサルティングエンジニアの著作権の保護
- (6) 適正な利益水準の確保と次世代の担い手育成のための環境整備
- (7) コンサルティングエンジニアの法的根拠の確立

我が国の公共事業は平成 9 年頃をピークに減少を続け、特に、平成 22 年に発足した民主党政権は「コンクリートから人へ」のスローガンを掲げ、公共事業費縮減傾向にさらに拍車をかけた。平成 24 年末の衆議院選挙の結果、自民党・公明党連合が政権を奪回、民主党政権の方針は大きく修正され、デフレと円高からの脱却による経済の再生、東日本大震災の復興、来るべき南海トラフの巨大地震や首都圏直下の地震に対する備え安全・安心社会を作り上げるための国土強靱化対策等の強力な推進を掲げ、平成 26 年 12 月の衆議院選挙においては、300 以上の議席を獲得、国民の信任を得ている。

他方、新しい建設生産システムの構築、公共調達の変化、建設関連事業の進め方の変化、建設コンサルタントの役割と活動領域の拡大など、我々を取り巻く環境は急速に変化してきている。その一方において、ここ数年の急激な建設市場の縮小は、競争激化に伴う低価格入札に起因する経営の弱体化、労働環境の悪化による人材の流失と技術力の低下、将来に展望が開けないことによる担い手不足など、様々な課題を我々に突き付けている。

このような課題を根本的に解決するためには、連盟の活動方針の一つである「公共事業調達法（仮称）」の制定を推進し、我々の経営を左右する公共調達の仕組みを改革する必要がある。この点に関しては、連盟が支援してきた脇雅史、佐藤信秋の両参議院議員が中心になって取り組まれ、一昨年（平成 26 年）6 月に公布されたいわゆる改正品確法では、公共工事の品質確保のための担い手の中長期的な確保を基本理念として掲げ、そのために関係する企業が適正な利潤を確保できるようにすることが発注者の責務として明記された。また、「調査、設計業務における技術的能力の審査など」（第 22 条）の条項が追加され、我々が求めてきた調査・設計を含む公共調達法の性質を色濃くしたものとなっている。また、この改正では、調達における技術力による選定の拡大、多様な入札契約制度の導入・活用などがうたわれ、地方自治体も巻き込み公共事業調達を適正化し

ていく方向性が示されている。

公共事業関係の予算については平成9年をピークに減少を続けてきたが、平成25年度にはほぼ底を打った感がある。平成25年には、長年にわたって減少し続けてきた設計業務委託等技術者単価もわずかではあるが増加に転じ、平成26、27年にも継続して単価のアップがはかられた。また、平成28年1月には設計業務において平均3.9%の単価アップが公表され、2月から適用されることとなった（前年のアップ率は5.2%）。これも連盟の支援する脇・佐藤両先生のご努力があって実現したものである。

このように平成27年は、26年に引き続き連盟の要望が少しずつではあるが、実を結び始めていることを実感した年であった。

ここに至ったのは、長年にわたる会員各位のご理解ご支援のお蔭であり、また平成25年7月の参議院選挙において職域代表の佐藤信秋先生が高位当選できたことも大きく貢献している。精力的にご支援いただいた皆様方に対し、心より御礼申し上げます。

連盟は今後も様々な課題について立法・行政府に働きかけていく所存である。皆様方におかれては、なお一層のご理解ご支援をお願いしたい。

2. 個別の活動実績

平成27年の具体的な活動は次のとおりである。

(1) 総会・常任理事会

※第14期通常総会

日時：平成27年2月17日（火）10：30～11：00

場所：グランドアーク半蔵門 華の間

主な議題：活動報告並びに平成26年収支報告、平成27年活動方針並びに予算の承認、
役員を選出

※平成27年 第1回常任幹事会

日時：平成27年2月17日（火）13：00～15：00

場所：グランドアーク半蔵門 5F シンフォニーの間

主な議題：平成27年の活動方針検討等（会員増強目標を1200名に決定）

※平成27年 第2回常任幹事会

日時：平成27年7月15日（木）13：00～15：30

場所：グランドアーク半蔵門 5F シンフォニーの間

主な議題：参議院選挙候補者の推薦、会員加入状況、連盟ウェブページの開設、地区活動報告と今後の活動方針等

(2) 連盟ウェブページの開設

平成27年6月、コンサルティングエンジニア連盟のウェブページを立ち上げた。

<http://consulting-engineer-renmei.jp/>

このページにおいて総会や意見交換会等、連盟の活動を随時報告した。

(3) 講演会

※総会後講演会

日時：平成 27 年 2 月 17 日（火）11：00～12：00

場所：グランドアーク半蔵門 華の間

講師：脇雅史参議院議員、佐藤信秋参議院議員

演題：時局講演会

講演趣旨：国会近況報告、公共事業の執行状況と課題等

(4) 意見交換会

※平成 27 年 第 1 回意見交換会（コンサルティングエンジニア連盟総会後）

日時：平成 27 年 2 月 17 日（火）12：00～12：50

場所：グランドアーク半蔵門

メンバー：脇雅史参議院議員

佐藤信秋参議院議員、

建設コンサルタンツ協会本部役員、連盟役員

※平成 27 年 第 2 回意見交換会

日時：平成 27 年 11 月 16 日（月）11：00～13：30

場所：グランドアーク半蔵門

メンバー：脇雅史参議院議員

佐藤信秋参議院議員

足立敏之氏

建設コンサルタンツ協会本部役員、連盟役員

<意見交換内容の概要>

脇雅史、佐藤信秋両先生には、国会開催中の寸暇を縫ってご来駕頂き、現下の政治動向と今後の連盟活動についての意見交換をすることが出来た。ここに、両先生に対し、心より御礼申し上げる（以下、両先生のご意見の要旨を記載）。

（脇先生）

- ・公共事業は量を安定的、計画的に確保し進めていく。
- ・国民、地域の要望をきちんと踏まえて議論し計画を策定していく。
- ・計画は常に見直していく必要がある。
- ・国土強靱化はそのための計画であり、ソフト・ハード両面から強くしたたかな国を作っていく。このために、地方、地域で何が必要か、どういう地方、地域にしたいのか、5 年 10 年先の将来を睨んだ議論を踏まえ計画を策定する。
- ・この中で建設コンサルタンツは重要な役割をはたしていただきたい。
- ・建設関係の企業の経営の安定化は是非必要でそうでないと技術も蓄積されないし、若い人も育たない。会計法ではうまくいかない、そのため品確法を作った。
- ・ある意味、企業の代弁者としてこれからもこういった流れを進めていく必要があり、足立氏が後を引き継ぐ。参議院の比例代表に是非このような人が必要である。

（佐藤先生）

- ・米国・英国は30年位前までインフラに関して何もやってこなかった。そのため、国力の減退、インフラの荒廃となって表れた。
- ・日本ではようやくインフラを計画的に整備していく環境ができたが(国土強靱化)、理論的な裏付けが十分ではない。アメリカでは AASHTO (American Association of State Highway and Transportation Officials) が、計画を作っている。
- ・インフラ整備は財務省との戦いであり、理論的な裏付けが欠かせない。
- ・最近、鬼怒川の洪水に対して批判があるが、緊急に整備が必要な河川だけでも2000kmある。鬼怒川はこれには入っていない。
- ・マンションの杭基礎の件は建築にとどまらず土木でも出てくる。契約、契約の変更、工期・下請けの問題等。
- ・品確法を浸透することによって公共事業はきちんと進めるようにしたい。まっとうな世界にするためにも足立さんに頑張ってもらおう。
- ・建設コンサルタンツは5万人弱と聞いている。建設業は500万人。これに対して警察42万人、自衛隊24万人。災害時において建設関係がいかに重要な役割を果たしているかがわかる。
- ・これから来年度の予算の時期になるが十分な当初予算額の確保はもちろんだが、補正も確保していく。

(足立敏之氏)

- ・自民党に公認をいただき、脇先生の後継として来夏の参議院比例代表に出馬する。業容の代表として応援をよろしくお願ひしたい。
- ・改正品確法においては国土交通省技監としてかかわった責任があり、建設産業再生を旗印に品確法の徹底を図っていきたい。
- ・もちろん公共事業の予算はしっかり確保していく。

(意見交換)

- ・上記を踏まえて建設コンサルタンツの役割の明確化、そのための業法の確立などが議論された。

(5) 対外活動等

- ・本年夏の参議院議員選挙に脇先生の後任として自民党公認候補として立候補される足立敏之氏の推薦を決定、推薦状を交付した(建設コンサルタンツ協会も推薦)、建設コンサルタンツ協会本部・支部の総会、セミナーなどで応援をお願いするとともに「足立としゆき君を励ます会」等に参加した。
- ・連盟の目的実現のため脇雅史参議院議員に250万円、佐藤信秋参議院議員に250万円の支援を実行。また、足立としゆき後援会に100万円の寄付を実行した。

(6) 会員募集活動

(社)建設コンサルタンツ協会本部・支部が開催した総会、講演会などの機会を通し、連盟の活動状況等を報告するとともに会員募集案内等を行った。その結果、平成27年12月末時点での会員数は次表のとおりである。本年の目標であった1200人を達成することはできなかったが、役員および幹事の方々の精力的な活動と、皆様方のご理解によって

前年に比べ2名増の1,109名の会員を確保することができた。

支部別会員数

(単位：人)

支部	北海道	東北	関東	北陸	中部	近畿	中国	四国	九州	合計
H27	70	115	379	59	86	100	106	85	109	1109
H26	78	106	402	58	77	109	104	56	117	1107
H25	65	90	358	60	82	93	85	54	116	1003
H24	72	88	388	68	83	112	90	48	118	1067
H23	60	83	339	45	76	106	88	32	92	921
H22	58	85	351	37	75	99	93	30	102	930